



Hatsuyuki

マルチスライサー

取扱説明書

マルチスライサー

型式/HD70AA



- このたびは、初雪マルチスライサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

もくじ

■ 安全上のご注意	1
■ 各部のなまえとその働き	4
●付属品・注意ラベルの貼付位置	5
■ 設置と運転前の確認	6
■ ご使用方法	7
●運転の手順	7
●強弱調節ネジについて	11
●プロテクターについて	11
●安全スイッチについて	11
■ 刃物の交換のしかた	12
●刃物の取り外し・取り付け方	12
■ お手入れ	13
●毎日のお手入れ	13
●汚れが目立つときのお手入れ	14
●適時のお手入れ	14
■ 点検	15
●1年に1~2回の点検	15
●保管方法	15
■ 故障の見分け方と処置方法	16
■ 謙渡・廃棄	18
■ 仕様	18
●保証書・アフターサービスについて	卷末

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようにになっています。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかる拡大損害を示します。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

！ 警告

お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を(梱包箱と共に)連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



損傷確認

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



アース工事

アース線を確実につなぐ

電源は専用コンセントを使用すること

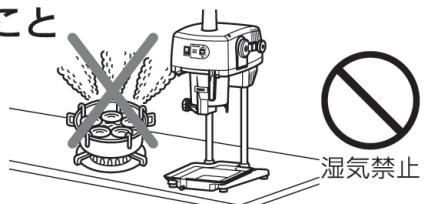
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

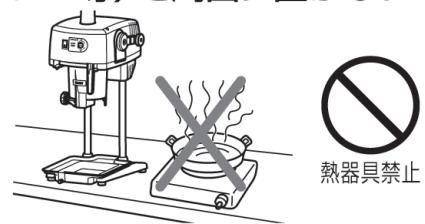
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。

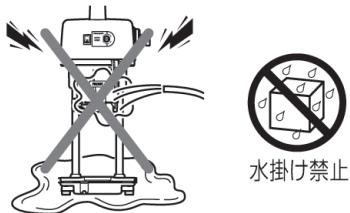


禁止

警告

製品に直接水をかけないこと

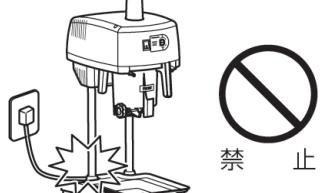
ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁 止

電源プラグの刃及び刃の取付面にはこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

運転中にカートリッジを取り出したり、カートリッジなしで運転しないこと

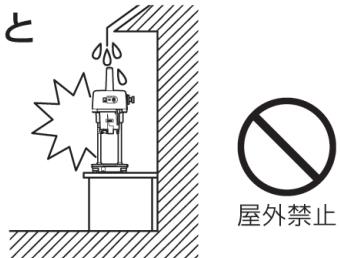
ケガの原因になります。



禁 止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

食材を出し入れするときは、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁 止

漏電遮断器を使用している場合、OFF(切)に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON(入)にすると、感電や火災の原因になります。



漏電連絡

異常時は、電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

掃除や点検のときは必ず電源スイッチをOFF(切)にして電源プラグを抜き、手袋をはめておこない、刃先に直接手を触れないこと

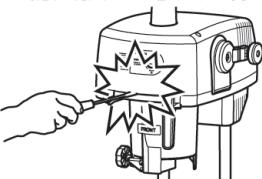
ケガの原因になります。



プラグを抜く

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと(刃物交換・お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



改造禁止

カートリッジを洗浄する時、底面を拭く方向は必ず刃物を底面より下げ、反時計方向に拭くこと

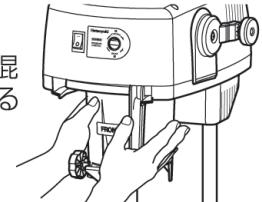
ケガの原因になります。



掃除注意

カートリッジのセットは奥まで確実に挿入すること

不十分ですと、異物混入、故障の原因となることがあります。

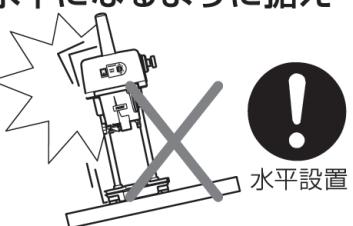


確 認

! 注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

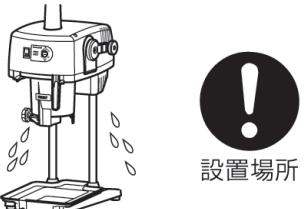
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

水滴が落ちてもよいところに据え付けること

結露のしづく、食材が溶けた水滴などで周囲の機器を濡らすことがあります。



設置場所

直射日光の当るところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁 止

掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出して、ケガの原因になります。



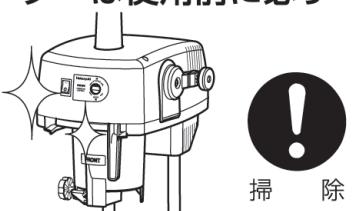
プラグを抜く



禁 止

カートリッジ・ローターは使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります。



掃 除

運転中は、回転部(主軸・上下ハンドル)に手を触れないこと

ケガの原因になります。



禁 止

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを見かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



禁 止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

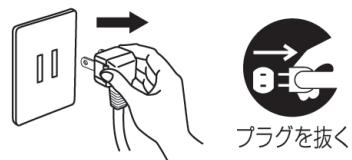
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。



禁 止

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと

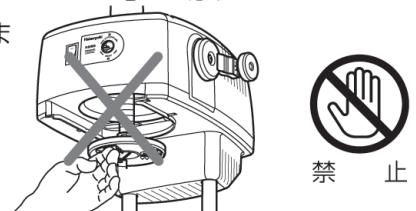
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



プラグを抜く

ローターのスパイクに手を触れないこと

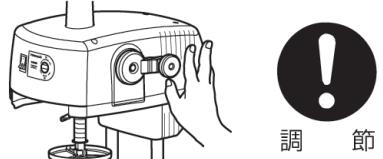
ケガの原因になります。



禁 止

強弱調節ネジの調節は、上下ハンドルから手を放してもローターが下がらないよう調節すること

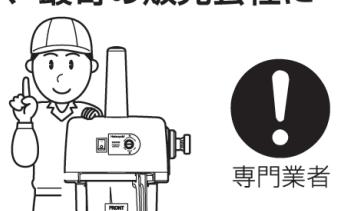
ケガの原因になります。



調 節

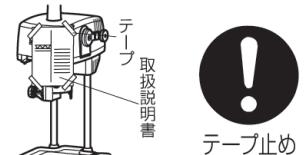
廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。



専門業者

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

各部のなまえとその働き

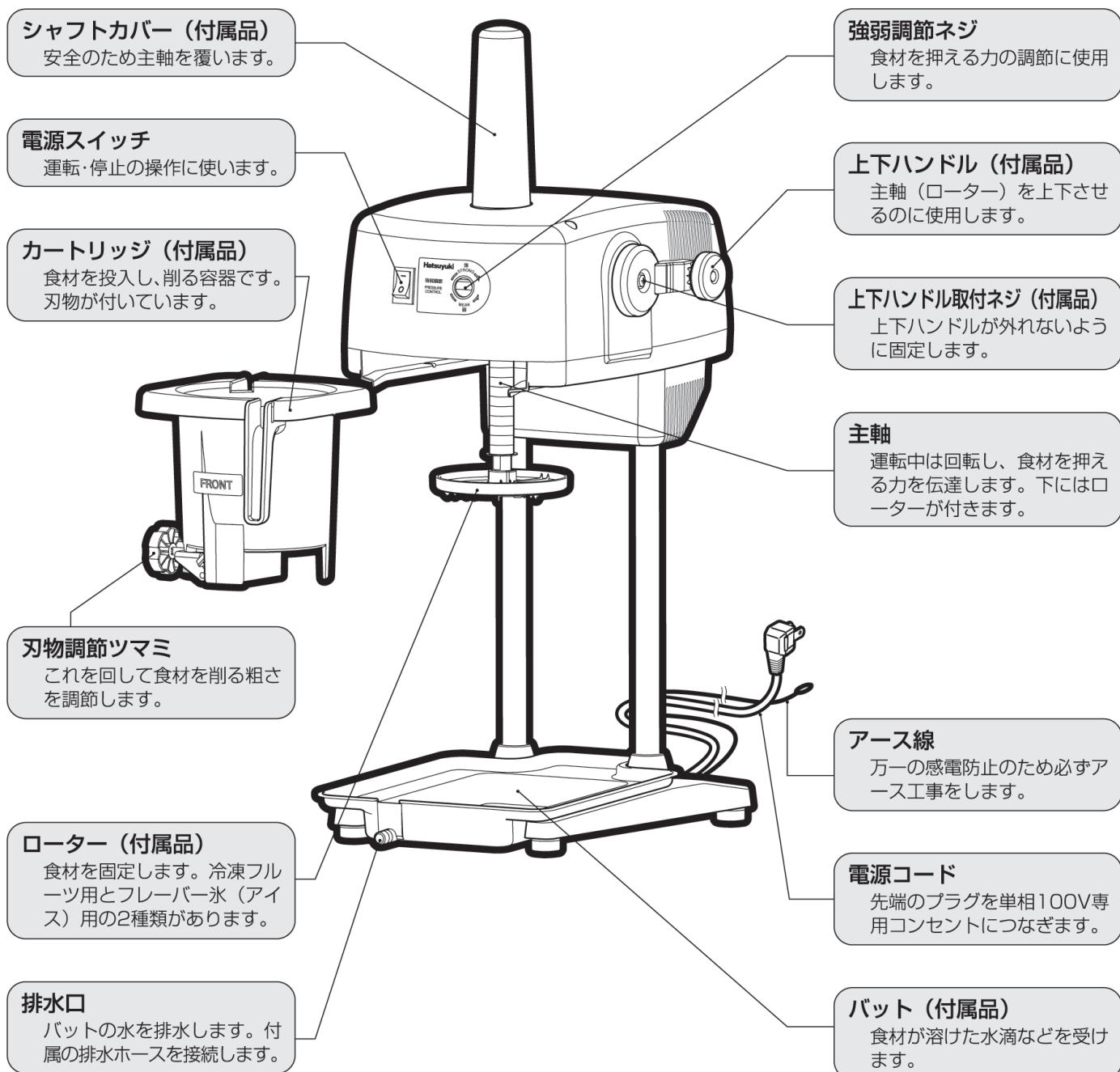
●本製品は冷凍フルーツやフレーバー氷（アイス）を削るための製品です。

キューブ氷用ではありません。

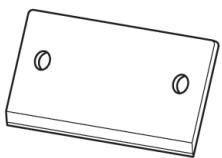
冷凍フルーツやフレーバー氷（アイス）を削る以外の用途には使用しないでください。

フレーバー氷（アイス）は直径120mm専用です。

■本体



■付属品



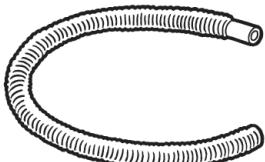
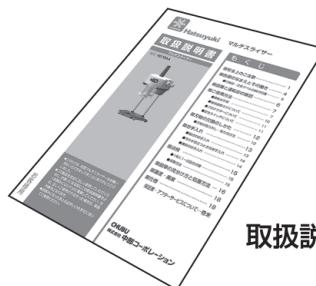
预备刃物 (1個)

上下ハンドル (1個)
本体に取付け主軸を
上下させるのに使用
します。

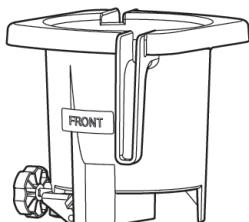
氷旗 (1個)

シャフトカバー
(1個)

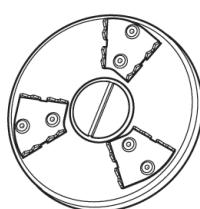
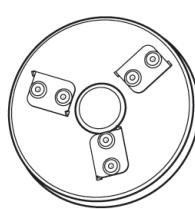
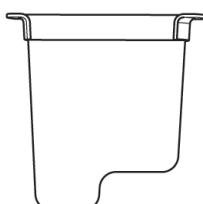
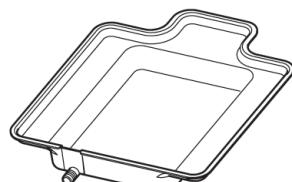
上下ハンドル取付ネジ (1個)

上下ハンドルを本体に取付ける
ために使用します。排水ホース (1個)
バットの排水口に
接続します。

取扱説明書 (本書)



カートリッジ (1個)

ローター／大 (1個)
冷凍フルーツ用
(直径137mm)ローター／小 (1個)
フレーバー氷用
(直径122mm)氷ガイド (1個)
フレーバー氷を削る
ときに使用します。セパレーター (1個)
2種類の冷凍フルーツを
削るときに使用します。

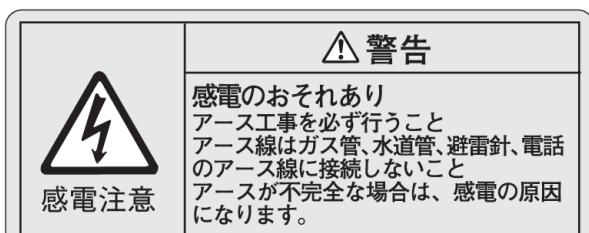
バット (1個)

■注意ラベルの貼付位置

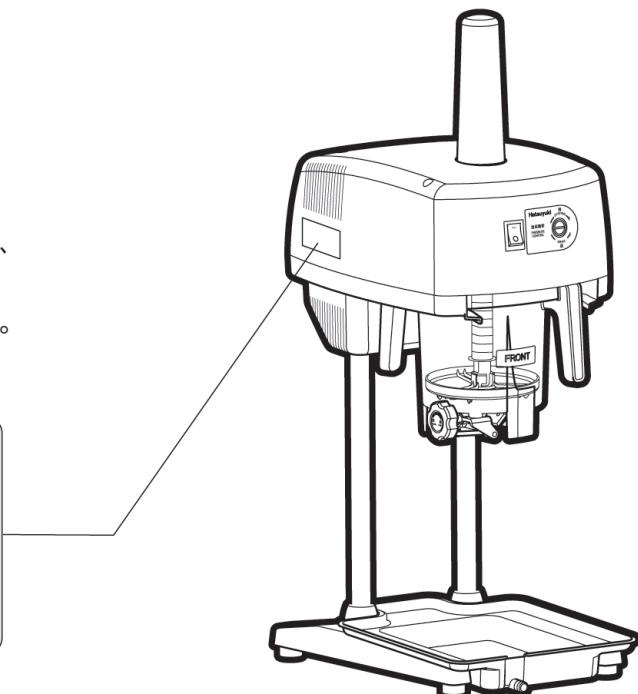
お願い

- ラベルを剥がさないでください。
 - ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
- ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：PLラベル／カンデン 702



(本体左側面に貼ってあります)

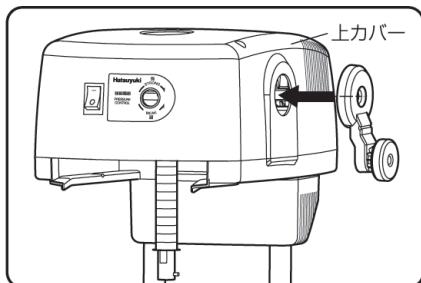


設置と運転前の確認

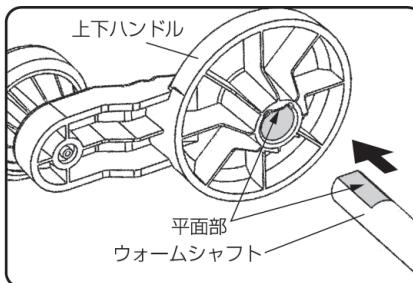
設置と運転前の確認

■運転前の確認

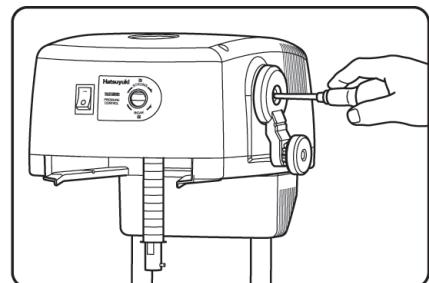
- 付属の上下ハンドルを次の要領で製品に取り付けてください。



1 操作側から見て右側の上カバーに穴が開いています。ウォームシャフトが出ていますので、上下ハンドルを差し込んでください。

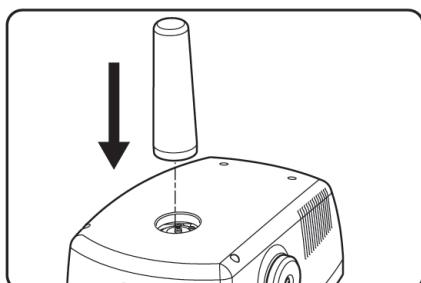


2 軸の平面部と上下ハンドルの平面部を合わせて挿入してください。



3 付属の取り付けネジを上下ハンドルに通して⊕ドライバーで締付け、上下ハンドルを回して主軸が上下することを確認してください。

- 付属のシャフトカバーを製品に取り付けてください。



1 シャフトカバーを本体上部主軸受けの穴に差し込んでください。

- 排水ホースを接続してください。

バットの排水口に付属の排水ホースをつないでください。その先に排水を受けるバケツ等の容器を置いてください。

- 電源は、交流100Vに接続してください。

使用電圧は、90~110Vでお使いください。但し、発電機は使用しないでください。発電機による故障は保証いたしません。

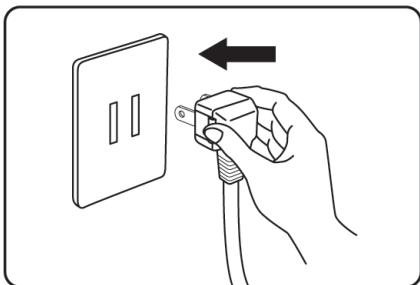
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどがカートリッジ・ローター・氷ガイド・セパレーターなどに付着している恐れがありますので、掃除をしてください。 (P13.毎日のお手入れ参照)

■その他

- 地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されない場合がありますので、当該機関（保健所等）までお問い合わせください。

ご使用方法

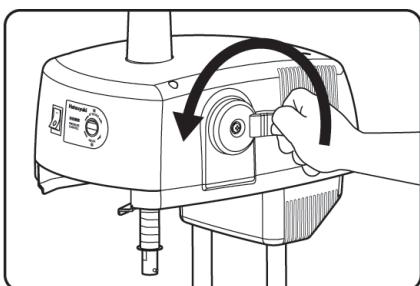
■運転の手順



1

電源プラグを差し込む。

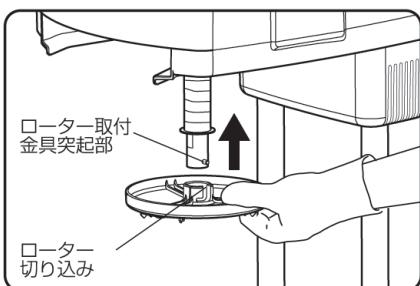
- 電源スイッチがOFF(切)になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



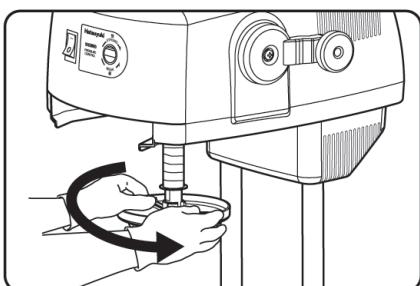
2

ローターをセットする。

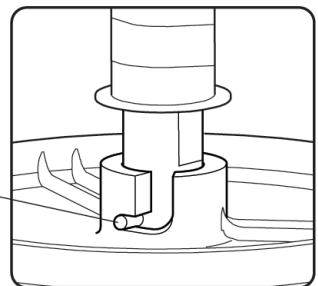
- 上下ハンドルを反時計方向に回して主軸を下げます。



- ローター取付金具の突起部を、ローターの切り込みに入れます。

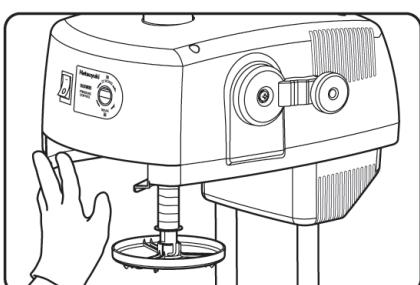


- ローターを反時計方向に回して固定します。



- ローターから手を離し、ローターが落ちてこないことを確認します。

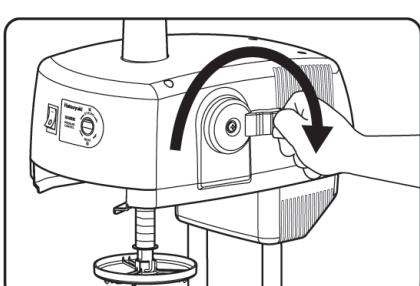
※冷凍フルーツを削る場合はローター（大）を使用します。
フレーバー氷を削る場合はローター（小）を使用します。

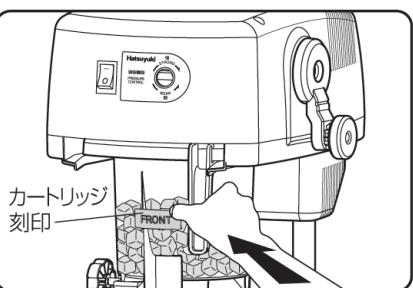
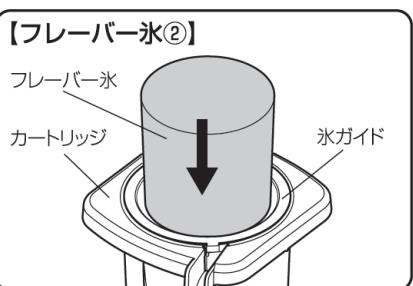
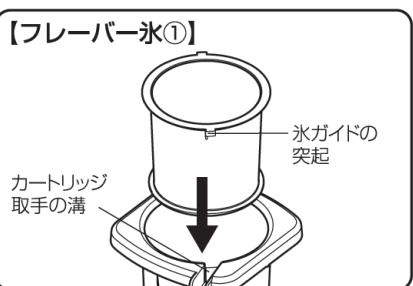
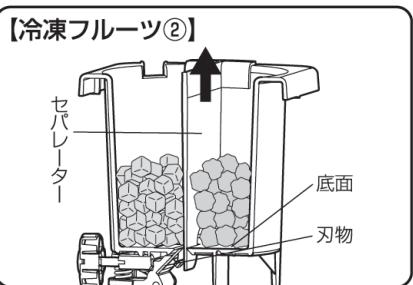
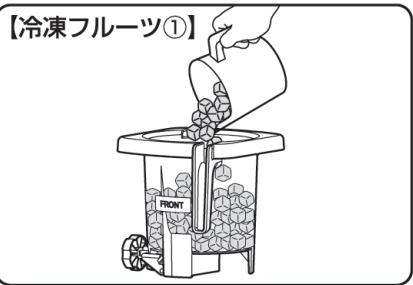


- 上下ハンドルを時計方向に回してローターを一番上に上げます。

- 上下ハンドルから手をはなしローターが落ちないことを確認します。

※強弱調節ネジの調節がゆるいとローターが落ちる場合があります。ローターが落ちるとケガをすることがあります。
(P.11強弱調節ネジについて参照)





3

食材をカートリッジへ入れる。

- カートリッジには、刃物が取り付いています。ケガなどにご注意ください。

【冷凍フルーツを削る場合】

①冷凍フルーツを均等（水平）にカートリッジに入れてください。均等（水平）に入っていないとうまく削れなかったり、故障の原因になることがあります。

②2種類の冷凍フルーツを削る場合は、セパレーターをカートリッジの刃物とカートリッジ底面との隙間に差し込みます。1種類目の冷凍フルーツをカートリッジ右側、2種類目の冷凍フルーツをカートリッジ左側へ入れます。

※2種類の冷凍フルーツは均等（水平）に入れてください。

冷凍フルーツを投入完了後、セパレーターを取り外します。

※セパレーターを取り付けたままではカートリッジを本体に取り付けることが出来ません。

【フレーバー氷を削る場合】

①氷ガイドをカートリッジに取り付けます。氷ガイドの突起部がカートリッジ取手の溝にはまるように取り付けます。

※氷ガイドがきちんとカートリッジに取り付けられていないとカートリッジを本体に取り付けることが出来ません。

②フレーバー氷をカートリッジへ入れます。

4

カートリッジを本体に取り付ける。

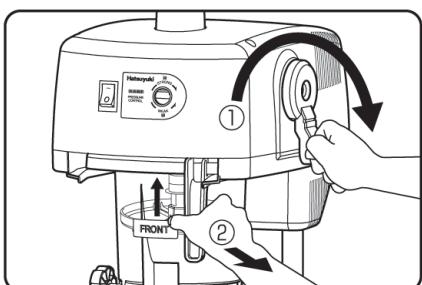
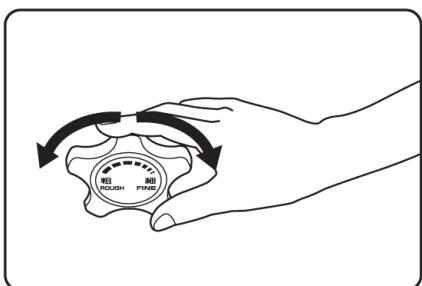
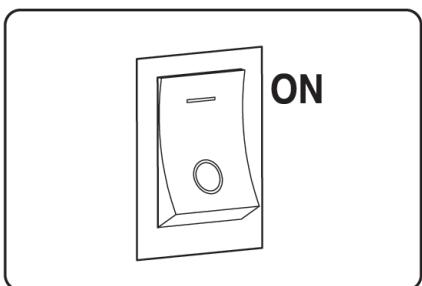
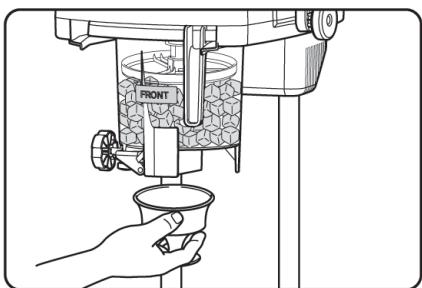
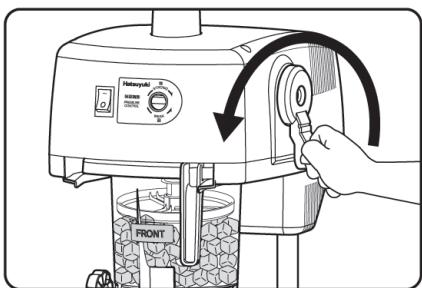
- カートリッジを奥まで挿入してください。

重要なお願い

- ・奥まで挿入されていない場合、異物の混入や故障の原因となることがあります。
- ・また挿入が不十分ですと、電源スイッチをON(入)にしても安全スイッチが働き製品は動きません。

●冷凍フルーツを削る場合に、カートリッジの刻印「FRONT」が手前になるように取り付けると容器で受けやすくなります。フレーバー氷を削る場合は、カートリッジの刻印「REAR」が手前になるように取り付けると容器で受けやすくなります。

●カートリッジの向きによる氷削性能の違いはありません。



5

上下ハンドルを反時計方向に回して、ローターで食材を固定する。

- ローターで確実に固定してください。
※不十分ですと、空転する可能性があります。

6

容器を準備する。

- カートリッジの下にカップなどの容器を用意して食材を受ける準備をしてください。

7

電源スイッチを入れる。 (運転開始)

- 電源スイッチをON(入)にしてください。
- 必ずカートリッジをセットしてから運転を開始してください。
カートリッジをセットしていないと、電源スイッチをON(入)にしても安全スイッチが働き製品は動きません。

8

食材の粗さを調節する。

- 刃物調節ツマミをまわして、お好みの粗さにします。
- 右にまわすと細かくなり、左にまわすと粗くなります。

9

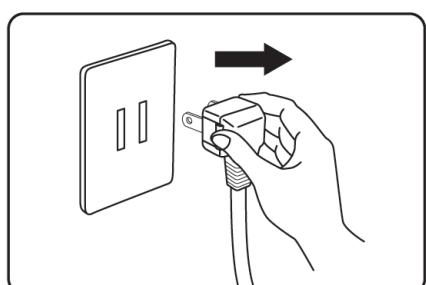
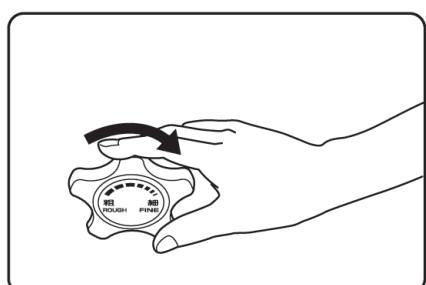
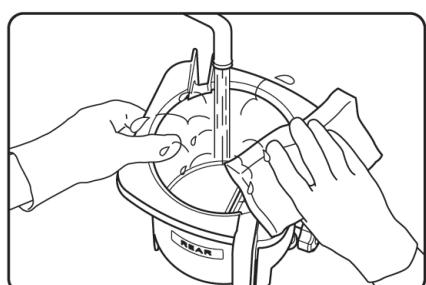
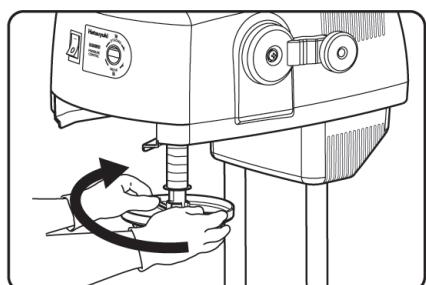
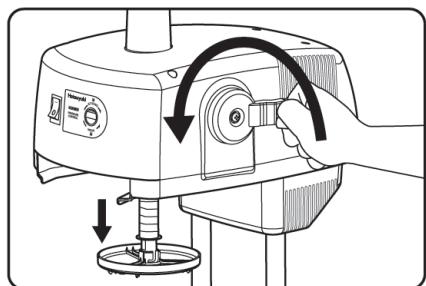
電源スイッチを切る。 (運転停止)

- 電源スイッチをOFF(切)してください。

10

カートリッジを取り外す。

- ①上下ハンドルを時計方向に回してローターを一番上に上げます。
②カートリッジを取り外します。
※ローターを一番上に上げないとカートリッジは取り外せません。



11

ローターを取り外す。

- ①上下ハンドルを反時計方向に回して、ローターを下げます。
- ②ローターを時計方向に回してから、下に取り外します。

ご注意

ローターの回転が止まっていることを確認してください。
ローターのスパイクに触れないでください。ケガの原因になります。

12

カートリッジとローターを洗浄する。

- カートリッジとローターは使用後、直ぐに洗浄し、食材を残さないようにしてください。

ご注意

洗浄の際、刃物調節ツマミを時計方向に回して、刃物をカートリッジ底面より下げる下さい。下がっていないと刃物でケガをすることがあります。

13

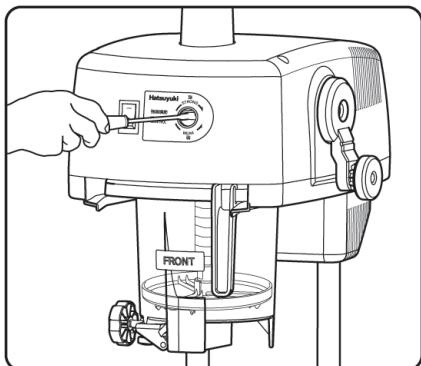
使用後は電源プラグを抜く。

- 1日の営業が終わったら電源プラグを抜いてください。

お願い

- カートリッジに入れた冷凍フルーツは使い切ってください。カートリッジに入れて冷凍保存はしないでください。
- フレーバー氷はカートリッジに入れて冷凍保存することは可能ですが、冷凍庫から取り出した時に、カートリッジが凍り付いて削れ場合があります。

■強弱調節ネジについて

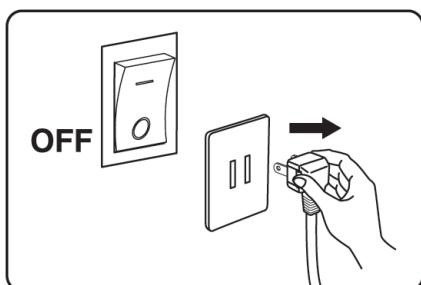


食材を押える力の調節に使います。

- 調節には Θ ドライバーを使用します。
- 右へまわすと強くなり、左へまわすと弱くなります。
- 上下ハンドルをまわして力を確認します。
上下ハンドルから手をはなしてもローターが落ちず、上げる時に重くない程度が最適です。

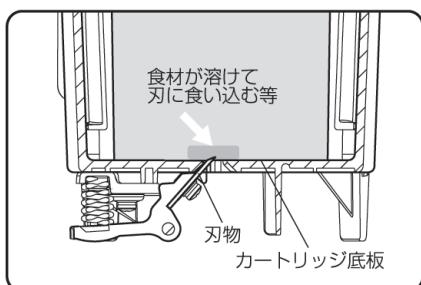
■プロテクターについて

- モーターに負荷がかかり過ぎると自動的に製品を止める装置です。
- 一定時間以上連続使用するとモーターが過熱しプロテクターが作動して、製品が停止します。また、負荷がかかり過ぎた時にも同様に製品が停止します。
- プロテクターは、モーターに内蔵しております。
- 作動したときは、次の処置をしてください。



1

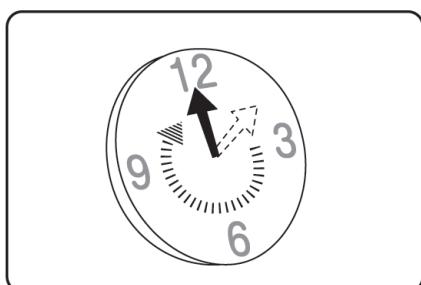
電源スイッチをOFF(切)にして、コンセントから電源プラグを抜く。



2

過負荷の原因を取り除く。

(例)刃物が食材に食い込んでいる。この場合は、食材のセットをもう一度やり直してください。



3

1時間放置してください。

- 自動的に復帰いたします。

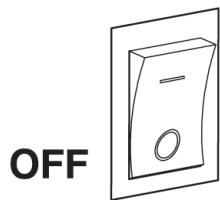
※プロテクターがたびたび作動する場合は販売会社にご相談ください。

■安全スイッチについて

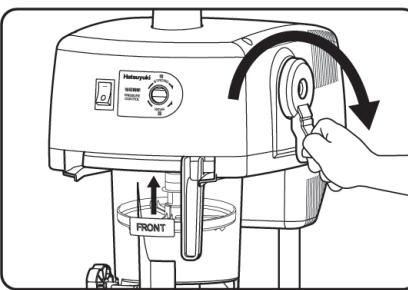
- カートリッジがセットされていなかったり、カートリッジの挿入が不十分な場合は、危険防止のため、安全スイッチが働き製品は停止します。
- 安全スイッチを電源スイッチの代わりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。

刃物の交換のしかた

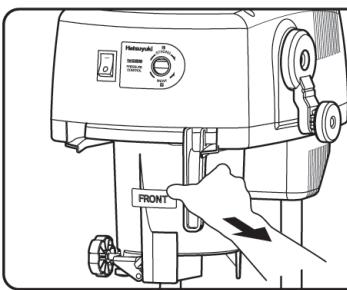
■刃物の取り外し・取り付け方



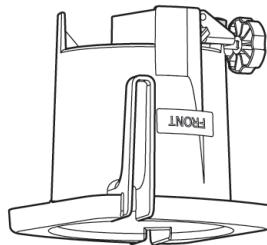
1 電源スイッチをOFF(切)にしてください。



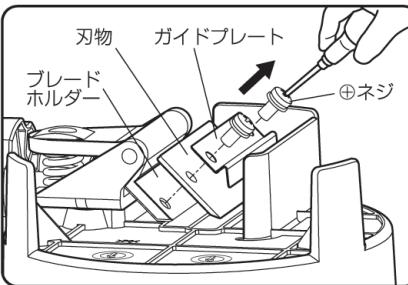
2 上下ハンドルを時計方向に回してローターを一番上に上げます。



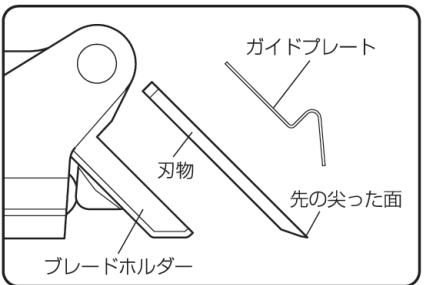
3 カートリッジを取り出します。



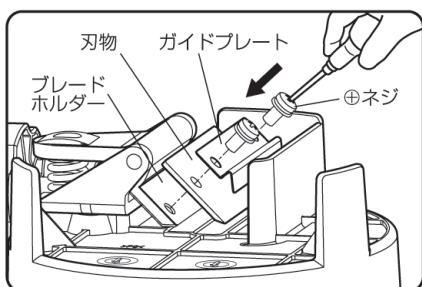
4 カートリッジの底面が上になるよう平らな場所に置いてください。



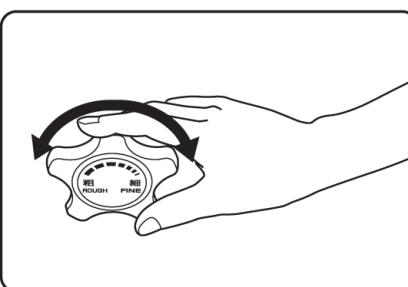
5 ブレードホルダーと刃物を取り付けている2本の \oplus ネジをドライバーで取り外し、刃物とガイドプレートを取り外してください。



6 刃物は刃先の尖った面をガイドプレート側にセットしてください。



7 新しい刃物とガイドプレートを \oplus ネジ(2本)でブレードホルダーに共締めで固定します。



8 刃物調節ツマミを左右に回して、お好みの粗さに調節してください。

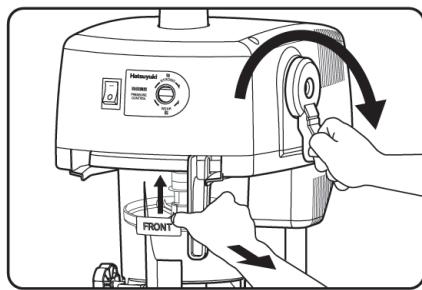
お手入れ

お願い

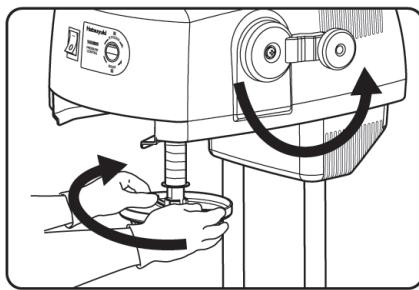
- お手入れで取り外した部品は、40°C以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機・乾燥機・消毒保管庫などを使用しないでください。プラスチックが変形・破損することがあります。
- プラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。プラスチック面を傷めます。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜塩素酸ソーダ・たわしなど。
- 化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

■毎日のお手入れ

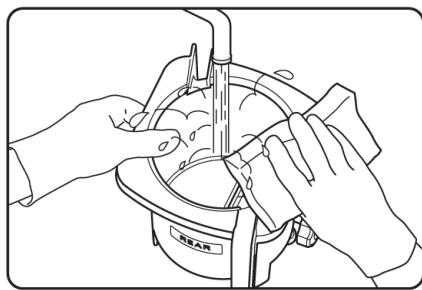
●洗浄（カートリッジ、ローター、氷ガイド、セパレーター、バット）



- 1 上下ハンドルを時計方向に回してローターを一番上に上げてから、カートリッジを取り外します。
※ローターを上げないとカートリッジは取り外せません。

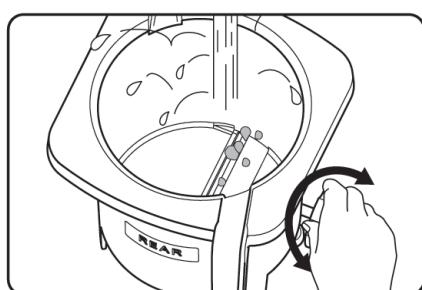


- 2 上下ハンドルを反時計方向に回して、ローターを下げてから、ローターを時計方向に回して、下に取り外します。

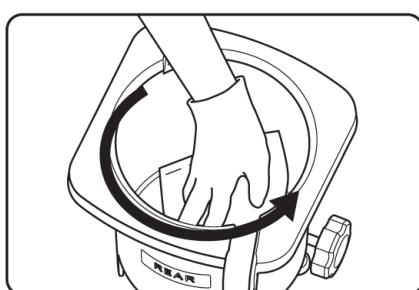


- 3 ご使用後は必ず、取り外したカートリッジ及びローター、氷ガイド、セパレーター、バットを台所用洗剤とスポンジタワシで洗った後、よく水洗いして乾いた布で水分をよく拭き取ってください。

※カートリッジの刃物やローターのスパイクに注意してください。ケガをすることがあります。



- 4 刃物とカートリッジの隙間に食材が挟まった時は、刃物調節ツマミを左右に回して、刃物を動かしながら、洗い流すと、取り易くなります。食材が残っていると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になる恐れがあります。



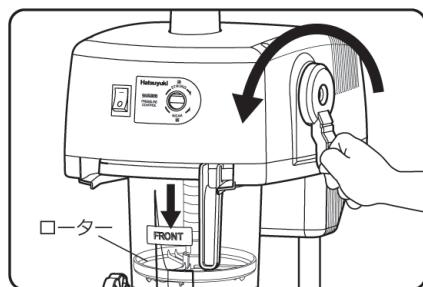
- 5 カートリッジ（底面）を拭くときは、刃物をカートリッジ底面より下げてから、反時計方向に拭いてください。
※時計方向には、絶対に拭かないでください。刃物でケガをすることがあります。

■汚れが目立つときのお手入れ（製品外面）

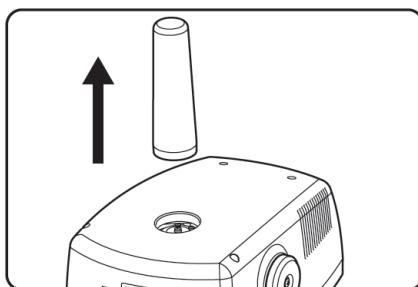
- 乾いた軟らかい布で拭いてください。
- 落ち難い汚れはぬるま湯か水でうすめた食器用洗剤をしみこませた布で拭いてください。
その後、洗剤分が残らないように水ぶきしてください。

■適時のお手入れ

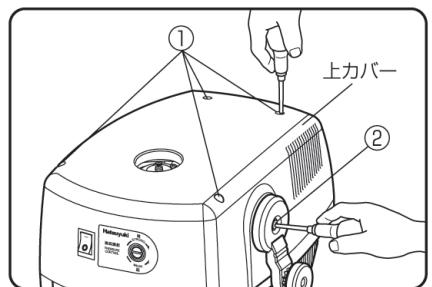
- 給油 ●ギヤーオイル(住鉱潤滑剤製スミードオイル相当品)をご使用ください。



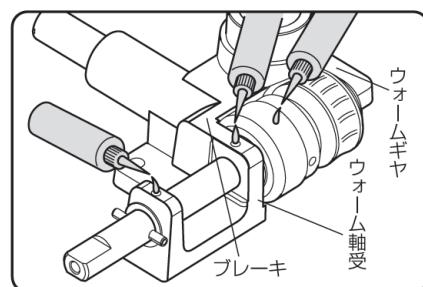
1 上下ハンドルを反時計方向に回して、ローターを一番下に下げてください。



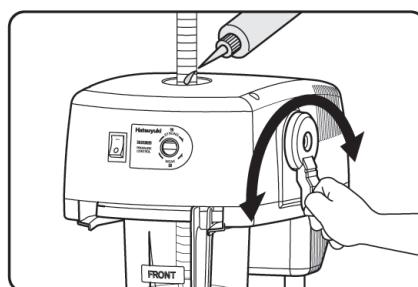
2 シャフトカバーを上に持ち上げてシャフトカバーを外します。



3 上カバーを取り付けている小ネジ①を⊕ドライバーで取り外してください。
上下ハンドルを取り付けているネジ②を⊕ドライバーで取り外してください。



4 上下ハンドルをウォームシャフトに一時差し込み(P.6上下ハンドル取付参照)、上下ハンドルを回しながら、ウォーム軸受の上部小穴2ヶ所と、ブレーキとウォームギヤーの接触面に充分給油してください。



5 上カバーを取り付け、上下ハンドル軸に上下ハンドルを取り付けます。主軸を上下させながら主軸に給油してください。給油後、シャフトカバーを取り付けてください。(P.6シャフトカバー取付参考)

点検

■1年に1~2回の点検

アースの点検

- アース線は、切れたり接続部がゆるんでいませんか？
異常がある場合は、電気工事店に依頼してください。

電源プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか。
他の機器と共に用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- 電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと。
ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。
- 電源コードがキズ付いたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟みこんだり、汚れたりしていませんか。
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。異常がある場合は販売会社または電気店にご相談ください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

故障の見分け方と処置方法

お願い

- 故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。
それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
製品が動かない	●電源プラグが抜けていませんか?	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか?	●「プロテクターについて」の項参照。 (P.11参照)
	●カートリッジはセットされていますか?	●カートリッジを確実にセットしてください。
	●ベルトが切れていませんか?	●販売会社に連絡してください。
	●モーターに異常な負荷がかかっていませんか?	●電源スイッチを「切」にし、食材等の負荷を取り除き、しばらく放置してから再起動してください。
製品は運転するが 食材が削れない	●ローターはついていますか?	●ローターを取り付けてください。
	●ローターに食材が付着していませんか?	●ローターを洗浄してください。
	●食材が硬すぎたり、溶けたりしていませんか?	●-15°Cから-10°Cの食材を使用してください。
	●食材は入っていますか?	●食材を入れてください。
	●食材を確実に固定しましたか?	●ローターを取り付け、上下ハンドルを反時計方向にまわし、ローターを食材に確実に固定してください。
	●食材に適応したローターを使用していますか?	●食材に適応したローターを使用してください。
	●刃物が切れなくなっていますか?	●刃物を交換してください。
	●刃先がカートリッジ底面より出ていますか?	●刃物調節ツマミを反時計方向にまわし、刃物を出してください。

MEMO

譲渡・廃棄

■譲渡

- このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めしてください。

■廃棄

- 廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼してください。

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険なものとして処理してください。

仕様

品 名	マルチスライサー
型 式	HD70AA
電 源	単相100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	200/180W
外形寸法(幅×奥行×高さ)	340×451×841mm
質 量	19kg
付 属 品	予備刃物………1 上下ハンドル………1 取付けネジ(M6×16ロック付) ……1 カートリッジ…1 ローター（大）…1 ローター（小）…1 バット………1 氷ガイド………1 セパレーター………1 シャフトカバー…1 排水ホース…1 氷旗………1 取扱説明書………1

保証書

品名	マルチスライサー
型式	HD70AA
お買上日	年月日
保証期間	1年
お客様の住所	
お名前	
販売会社住所	

※必ず各欄をご記入ください。

●故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。

1. 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
 - ・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
 - ・落下・火災・地震など天災地変による故障。
 - ・消耗部品の交換。・保証書のないもの。
2. 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
3. 保証書は紛失されても再発行いたしません。
4. 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
5. 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証(操業保証)はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1



アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

フード機器事業部／三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京／TEL 03 (5833) 9968 大阪／TEL 06 (6788) 2251
中部／TEL 0594 (32) 1130 福岡／TEL 092 (474) 1312